

出向く宮農レポート

～女性のアグリスchoolの仲間と卒業後も共に～



北部宮農センター 瀬戸地区担当
井上 達幾

令和4年度に『女性のアグリスchool』を卒業された山田珠代さん、山田ひとみさん、足立明子さん、小島千賀子さんの4名が共同で栽培管理している圃場を訪問しました。

現在は、トマト、ナス、ピーマン、サトイモなど約6種類の野菜を栽培し、瀬戸グリーンセンターに出荷しています。トマトやピーマンについては、アグリスchoolで学んだこともあり、順調に生育しています。サトイモを観察すると、葉の食害が見られました。原因はセスジスズメ(チョウ目害虫)の幼虫による食害で、特徴は後ろに角のようなものが一本出ています。

幼虫は成長ごとに色が変わり、8cm程まで成長します。成長に伴い被害も大きくなるため、プレオフロアブルによる防除指導を行いました。



プレオフロアブル

チョウ目害虫やアザミウマに効果のある農薬です。

- 希釈倍率：1000～2000倍
- 使用時期：収穫7日前まで
- 使用回数：2回以内

※使用に際しては製品ラベルの記載内容に従ってご使用ください。



山田さん、足立さん、小島さんにインタビューしてみました!!

Q アグリスchoolに参加してどうでしたか

A とても楽しかったです。今この圃場で農業ができているのも、女性のアグリスchoolの仲間と始めることができたから。一人だったらなかなか踏み出せなかったと思います。

また、アグリスchoolで中級にあがり、最初に「出荷する」と聞いた時は自分の作った作物を売り物にすることに対して少しハードルの高さを感じましたが、実際に出荷してみると自分の出荷したものが売れたことの喜びや、他の生産者の出荷物を参考にしながら値段を自分で決めたりすることがとても楽しかったです。

自分が一生懸命育てた農作物が売れることは、とても励みにもなります。

自分で栽培から出荷することで、野菜を作ることの大変さや、農家さんの苦労を実感しました。

Q これからの目標はありますか

A 「まずはやってみよう」をモットーに、わからないことはアグリスchoolの仲間やJA職員に相談しながら、成功や失敗を繰り返していきたいです。アグリスchoolで学びましたが、失敗することも大切です。失敗したことを次の年に活かせるよう、頑張ります!

